

島根県立美術館 ニュース

NEWS

vol. 110

北欧モダンデザインの巨匠、
日本初個展。



企画展

TAPIO WIRKKALA: The Sculptor of Ultima Thule

タピオ・ヴィルカラ 世界の果て

極北の大自然から生まれた 北欧モダンデザインのカタチ



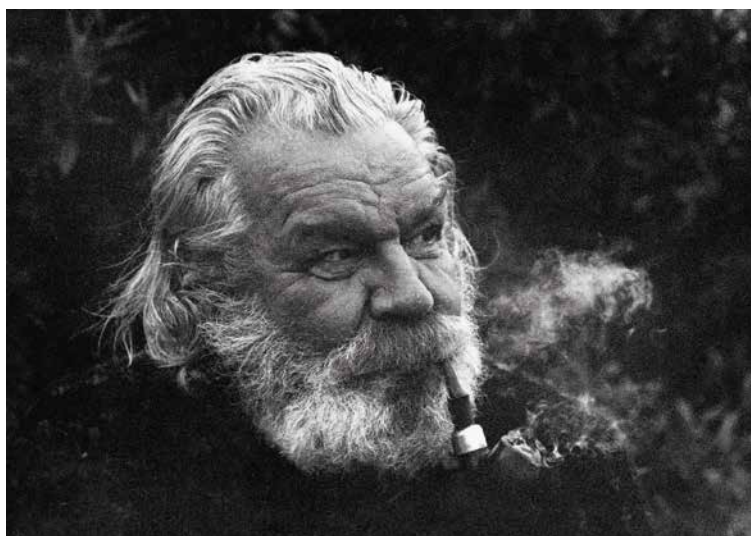
《レヒティヴァティ／リーフ・ディッシュ》1950年代 Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art, © Ari Karttunen / EMMA

フィンランドのデザイナー

北欧諸国の家具や食器のデザインは、日本ばかりでなく、世界的にも人気があります。こうした「北欧デザイン」を担う主要な国々は、ノルウェー、スウェーデン、デンマーク、フィンランドの4カ国です。本展で紹介するタピオ・ヴィルカラ（1915–1985）は、このうちのフィンランドのデザイナーです。ヴィルカラは、フィンランド南部の港町ハンコに生まれました。首都ヘルシンキの美術学校で装飾彫刻を学び、第二次世界大戦後にデザイナーとして活動を始めます。その後、デザインコンペ受賞をきっかけにガラス製造会社イッタラのデザイナーとして活躍するようになります。

「北欧デザイン」とヴィルカラ

そして、ヴィルカラが国際的に注目を集めるきっかけとなったのは、1951年と1954年のミラノ・トリエンナーレでした。ヴィルカラはフィンランドの展覧会場の展示設計を務め、ガラス器や彫刻作品に加えて、展示設計でも高い評価を受けます。こうして、ヴィルカラはフィンランド・デザイン全体の成功に貢献したのです。またヴィルカラは、1954年から1957年にかけて、アメリカとカナダを巡回した「スカンジナビアのデザイン」展に参加します。これは北欧4カ国のガラス器、陶磁器、金属製品、家具などを紹介した展覧会で、「北欧デザイン」という概念が受け入れられるきっかけとなった展覧会



タピオ・ヴィルカラ、1980年代 © Maarja Wirkkala, Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA – Espoo Museum of Modern Art.

©KUVASTO, Helsinki & JASPAR, Tokyo, 2024 C4780

関連企画

記念講演会

聴講無料

「北欧デザインの基礎知識」

講師 渡部千春(東京造形大学教授)
日時 7月12日(日)14:00～(13:30開場／約90分)
会場 ホール(190席・当日先着順)

ギャラリートーク

要企画展観覧料

当館担当学芸員による展示解説

日時 7月20日(月・祝)・8月22日(土) 各日14:00～
会場 企画展示室

島根県立美術館× 島根県立石見美術館

ふたつ見て、もらおう。 要企画展観覧料

本展と島根県立石見美術館「カイ・フランク展」
(6/27-9/6)の両方をご覧の方にグッズをプレゼント。
企画展入口でスタンプカードを配布します。

※プレゼントがなくなり次第終了

2026年
6月26日_金→8月31日_月

開館時間 10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)
休館日 火曜日(ただし、8月11日は開館)

北欧モダンデザインの巨匠タピオ・ヴィルカラ(1915-1985)の生誕
110年と没後40年を記念して企画された日本初回顧展で、全国4会
場を巡回するものです。厳選した作品をその制作過程や背景を明か
す資料とともに展示します。

〔観覧料〕

オンラインチケット・ローソンチケット

〔企画展+コレクション展セット〕

一般:1,400円、大学生:830円、小中高生:300円

当日券

〔企画展+コレクション展セット〕

一般:1,500(1,200)円、大学生:930(740)円、小中高生:400(320)円

〔企画展のみ〕

1,300(1,040)円、大学生:800(640)円、小中高生:400(320)円

●オンラインチケットはホームページより、ローソンチケットはローソン各店にてお求め
になります(ローソンチケット/Lコード63405)●未就学児無料●()内は団体
料金●小中高生の学校教育活動での観覧は無料●身体障害者手帳(障害者手帳ア
プリ:ミライID)、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、被爆者健康手帳をお持ちの
方、及びその付添の方は1名まで無料

主 催:島根県立美術館、TSKさんいん中央テレビ、山陰中央新報社、

SPSしまねグループ

企画協力:エスポー近代美術館、タピオ・ヴィルカラ ルート・ブリュック財団、
ブルーシーブ

特別協力:イッタラ

後 援:フィンランド大使館、フィンランドセンター、朝日新聞松江総局、
毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、産経新聞社、中国新聞社、
新日本海新聞社、島根日日新聞社、NHK松江放送局、BSS山陰放送、
日本海テレビ、エフエム山陰、山陰ケーブルビジョン



《ウルティマ・ツール(ドリンキング・グラスのセット)》1968年 Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection /
EMMA - Espoo Museum of Modern Art, © Ari Karttunen / EMMA



《ウルティマ・ツール(レリーフのためのスケッチ)》1967年頃、複写
Tapio Wirkkala Rut Bryk Foundation Collection / EMMA -
Espoo Museum of Modern Art, © Ari Karttunen / EMMA



《カンタレツリ/アンズタケ》1946年 Collection Kakkonen.
© Rauno Träskelin

心のよりどころ

とされています。自らデザインした展覧会ポ
スターで、ヴィルカラは北欧モダンデザイン
の象徴となる《レヒティヴァティ/リーフ・
デイツシュ》をモチーフにしました。

こうして、国際的な評価を得て、ヴィルカ
ラはたびたび世界各地へ起きました。またイ
タリアのヴェネツィアには長期滞在し、ガラ
ス工房で仕事をしています。国際的に活躍し
たヴィルカラでしたが、フィンランドの自然が、
彼の重要なインスピレーション源でした。
1960年代からはフィンランド最北のラッ
ブランドで定期的に過ごすようになります。
ラップランドの静けさと原野の自然に魅了さ
れたのです。ヴィルカラは合板とガラスと
いう異なる素材でふたつの「ウルティマ・ツ

さまざまな素材と技法

レ」(ラテン語で「世界の最北」「世界の果て」
などと訳せる)を制作します。これはまさに
ラップランドの大自然を着想源としたもので
した。

ヴィルカラがデザインの対象としたものは、
ガラス以外に、磁器、銀食器、宝飾品、照明、
家具、紙幣、グラフィック、空間にまでおよ
びます。さまざまな素材に向き合い、洗練され
たフォルムを生み出したのです。加えて積層
合板を用いた彫刻や、ガラスのオブジェには、
プロダクト・デザイナーとは異なるヴィルカ
ラの表現者の顔ものぞきます。フィンランド
からやってきたプロダクトとオブジェ約
300点を展示しヴィルカラの魅力に迫る本展
をぜひご覧ください。(専門学芸員 河野克彦)

コレクション展

観覧料

一般	400円
大学生	260円
高校生以下	無料

○ミュージアムパスポートをご使用いただけます。
○企画展と同日に観覧の場合は半額



山岡米華《赤壁前遊》1910(明治43)年、個人蔵

絵から感じる清涼さ

上空に向かってそびえ立つ山々のふもと、霧の漂う水辺に小さな一隻の舟が浮かんでいます。岩肌から生える木々に赤みがかった葉っぱが見えることから季節は初秋でしょうか。山の合間の空には薄っすらと月が描かれています。「赤壁前遊」というタイトルから、蘇東坡が中国の赤壁にて詠った漢詩を題材にしていることが分かります。爽快さを感じさせる一幅です。

第3期

7月8日[水]－8月17日[月]

展示室 1 近世絵画 日本画

作者の山岡米華（1868－1914）は、画面左上の賛文において以下のようなことを記しています。「中国から帰国して19日がたちました。山陰の西伯渡村（注：現在の境港市）に住む庄司さんのお邪魔して、依頼された絵を今は制作しています。残暑の季節になつてきたものの、汗が筆をつたって落ちてしまうほどに暑いですが、この家の庭の植物が風にそよいでくれるので、ちょっとだけ涼しくなった気がします」。

1910（明治43）年6月から7月にかけて、山岡米華は横山大観、寺崎廣業とともに中国を遊歴していました。そして帰国した米華と大観は、山陰の人々の熱烈なラブコールに応え8月に鳥取と島根を訪れます。その旅のなかで制作されたのが本作なのです。中国で実際に見た景色や感じとった空気感を米華は作品へ込めたに違いありません。暑い日が続く季節になってきましたが、米華の感じた爽やかな気分が想いを馳せてみてはいかがでしょうか。展示室のなかは耐え難い暑さと無縁のはずです。

（専門学芸員 五味俊昌）

展示室 3 工芸

船木倭帆
暮らしのガラス

7月1日[水]－9月14日[月]



船木倭帆《垂描文皿》1987-2012(昭和62-平成24)年頃

倭帆の垂描文と研兒のスリップウェア

ガラス作家船木倭帆（1935－2013）は、布志名で代々続く船木窯に生まれました。父道忠、兄研兒は陶芸家として知られます。倭帆は大学卒業後にガラス工場で吹きガラスの技法を習得し、当時まだ珍しかった個人で炉を持つガラス作家を志しました。

倭帆は溶かした色ガラスを器の表面に垂らして模様を描く独自技法、垂描文を盛んに用いています。対して兄研兒が得意としたのは、泥状のスリップで器に絵を描くスリップウェアの制作でした。どちらも時間がたつと固くなる、垂れるなど素材が持つ特性に合わせながら模様を描く必要があります。その後、垂描文は炉で焼き戻して膨らませる、スリップウェアは窯で焼成という工程に進むのです。

二人の制作は母胎に近い素材で描き、作意を持ちつつも遠心力や焼成などの予測を超えた物理的な影響を受け入れ、それすらも自らの作風とする点に共通が見られます。ガラスの道へ進んだ倭帆ですが、その作風や好んで使用する技法は兄弟の仕事に通じる部分があると言えるでしょう。

（主任学芸員 山本麻代）

展示室 1 水辺の展示室

第2期

5月27日〔水〕－7月6日〔月〕

第3期

7月8日〔水〕－8月17日〔月〕

当館の所蔵する「水を画題とする絵画」の名品を展示します。近世絵画・日本画は今年度、8期の展示、西洋絵画・洋画は通期展示（一部展示替えあり）の予定です。

第4期

8月19日〔水〕－9月28日〔月〕



ジャン＝バティスト＝カミーユ・コロー《舟渡し、ドゥエ近郊》1870-72年

展示室 1 近世絵画 日本画

第2期

5月27日〔水〕－7月6日〔月〕

第3期

7月8日〔水〕－8月17日〔月〕

当館が所蔵する江戸時代の近世絵画、近代以降の日本画より、特に当館が誇る優品、島根県出身や来遊画家の作品など、島根ゆかりの美術を紹介します。

第4期

8月19日〔水〕－9月28日〔月〕



伊藤若冲《鶏図》1789(寛政元)年頃
(第3期展示)

展示室 1 西洋絵画 洋画

第1期 近代洋画名品選

—島根の画家たちとともに—

4月15日〔水〕－7月27日〔月〕

第2期 色と形を見つめて

7月29日〔水〕－11月23日〔月・祝〕

絵画をはじめとする視覚芸術の基本的要素である“色”と“形”。当館コレクションを通じて、色彩と形態に対する画家たちのこだわりを紹介します。



アンドレ・ドラン《マルティエグ》1907-1908年



田中夢《つるべおち一日おわりめ》1965(昭和40)年頃

展示室 2 北斎

北斎コレクション第3期

6月24日〔水〕－7月27日〔月〕

北斎コレクション第4期

7月29日〔水〕－8月31日〔月〕

コレクション展示室2（「北斎展示室」）では、当館が誇る北斎コレクション・約1600件の中から、北斎の錦絵・摺物・版本・肉筆画、約40点をご覧いただけます（約1ヶ月ごとに全点展示替）。常に様々な分野・年代の北斎作品をご鑑賞いただける、世界的にも極めて珍しい展示室です。



葛飾北斎《諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝》1833(天保四)年頃(第4期展示)

北斎コレクション第5期

9月2日〔水〕－9月28日〔月〕

展示室 3 工芸

船木倭帆 暮らしのガラス

7月1日〔水〕－9月14日〔月〕

展示室 4 写真

山陰と写真

4月16日〔木〕－7月13日〔月〕

発表から70年 奈良原一高《人間の土地》

7月16日〔木〕－10月19日〔月〕

奈良原は初個展「人間の土地」において、新しい映像表現で自然や社会機構と向き合う人間の姿に迫りました。発表から70年の今年、改めて本作を振り返ります。



奈良原一高《浴場》1954-1957(昭和29-32)年
© Narahara Ikko Archives

展示室 5 小企画

しまびコレクション×夏の自由研究 平らな面・曲がった面

6月11日〔木〕－9月14日〔月〕

「しまびコレクション×夏の自由研究」は、美術にまつわるさまざまなテーマを取り上げご紹介している企画です。今年は平面と曲面が構成する造形に着目し、その表現について考えます。



清水九兵衛《CORRESPONDING FORM 4》1995年

アーツ・アンド・クラフツとデザイン

ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで

19世紀後半のイギリスで起こったアーツ・アンド・クラフツ運動は、デザイナー・詩人・思想家のウィリアム・モリス（1834-1896）を中心に、産業革命により大量生産された粗悪な製品を批判して工業化以前の社会に理想を見出すもので、手仕事の復権や生活と芸術の統合を目指しました。運動は世界各地に広がりを見せ、アメリカでは建築家のフランク・ロイド・ライト（1867-1959）らが参加して新たな展開が生まれます。

暮らしの中の美を大切に作る精神が生み出した多彩なデザインは、時代や社会を越えて私たちを魅了し続けています。



ウィリアム・モリス《いちご泥棒》1883年 Photo © Brain Trust inc.

9月11日〔金〕→11月3日〔火・祝〕

【開館時間】 [9月] 10:00～日没後30分(展示室への入場は日没時刻まで)

[10・11月] 10:00～18:30(展示室への入場は18:00まで)

【休館日】 火曜日(ただし、9月22日、11月3日は開館)

オープニングセレモニー ご招待

参加無料 要事前申込

抽選で30名様を「アーツ・アンド・クラフツとデザイン ウィリアム・モリスからフランク・ロイド・ライトまで」のオープニングセレモニーにご招待いたします。また当日抽選でテーブルカットにご参加いただけます。

日時 9月11日(金)9時40分～
(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

申込方法

ハガキまたはFAXに必要事項をお書きの上、下記申込先にお送りください。

①お名前(ふりがな)②郵便番号・住所③電話番号 以上必須事項 ④FAX番号⑤同伴者のお名前(ふりがな)1名まで可

申込先

〔ハガキ〕〒690-0049 松江市袖師町1-5
島根県立美術館
「アーツ・アンド・クラフツとデザイン」展
オープニングセレモニーご招待係
〔FAX〕0852-55-4714

申込締切 8月21日(金)当日消印有効

○申込多数の場合は抽選となります。
○お客様の個人情報は、招待状の発送(郵送)以外には利用いたしません。
○当選者の発表は招待状の発送(8月27日頃)をもってかえさせていただきます。(電話などでの個別のお問合せはできません。)

関連企画

オープニングセレモニー

参加無料

要事前申込

日時 9月11日(金)9時40分～
(受付9時15分/約20分)

会場 ロビー

特典 記念品(代表者のみ進呈)

▼申込方法は左記をご覧ください。

記念講演会

聴講無料

「生活造形という問い」

―近代世界における自然・美・工藝―

―作家と作品から考える(仮)―

講師 鈴木禎宏(お茶の水女子大学 教授)

日時 9月13日(日)14時～13時30分開場/約90分

会場 ホール(190席/当日先着順)

ギャラリートーク

要企画展観覧料

日時 9月26日(土)、10月11日(日)、10月31日(土)

各日14時～(約45分)

会場 企画展示室

●「しなな家庭の日」企画

絵本とおでかけ企画展示室

要企画展観覧料

(家族と来館した高校生以下は観覧無料)

日時 10月18日(日)10時30分～(約45分)

対象 小学生とその家族

会場 キッズライブラリー、企画展示室

集合 キッズライブラリー(先着15名程度)

オープンスタジオ

リピータパターンをデザイン

参加無料 事前申込不要

模様づくりに挑戦します。

日時 10月3日(土)、10月17日(土)

各日13時30分～17時頃まで

(材料がなくなり次第終了)

会場 アートスタジオ

その他 汚れてもよい服装でご参加ください。

※座席数に限りがあるため、お待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。

ロビーコンサート

鑑賞無料

「ギターが奏でるイギリス音楽

―ビートルズを中心に―

出演 別府克彦(ギター)

日時 9月27日(日)

①13時～②15時(各回約30分)

会場 ロビー

※座席数に限りがあるため、立見で鑑賞いただく場合がございます。予めご了承ください。

美術館キネマ

鑑賞無料

『ふしぎの国のアリス』

(1951年製作/75分/日本語吹替版)

日時 10月4日(日)

①10時30分～②14時(各回30分前開場)

会場 ホール(190席/当日先着順)

Event イベント情報

●「タピオ・ヴィルカラ展」関連

〈ロビーコンサート〉 鑑賞無料 クラシックギターで聴く北欧音楽

出演 門脇康一・門脇卓人
(クラシックギター)

日時 7月26日(日)
①13:00～②15:00～
(各回約30分)

会場 ロビー

展覧会にあわせ、北欧音楽をお届けします。

※座席数に限りがある為、立見での鑑賞になる場合がございます。
予めご了承ください。



門脇康一 門脇卓人

〈美術館キネマ〉 鑑賞無料

「劇場版 ムーミン谷の彗星 パペット・アニメーション」

(2010年製作/75分/フィンランド・ポーランド・オーストリア合作)

日時 8月9日(日)
①10:30～
②14:00～
(各回30分前開場)

会場 ホール

(190席/当日先着順)

ある朝、ムーミン谷の何もかもが灰色になっていた。物知りのジャコウネズミさんは、「空から恐ろしい彗星が地球にやってくる前ぶれののだ」という。そこでムーミンとスニフは彗星を調べるために、おさびし山にある天文台へと冒険の旅に出発する。迫り来る彗星が到着するまでに、ムーミントロールと仲間たちは、ムーミン谷へたどりつくことができるのか？



●コレクション展関連

〈ワークショップ〉 参加無料 要事前申込

「夏休みアート体験2026 かたちの魅力を見つけよう！ ユニットでつくる立体アート

スチロールから切り取ったかたちを、ユニットという考え方で組み合わせます。簡単なかたちの組み合わせから新しいかたちを見つけ出し、魅力のある立体アート作品を作ります。



「かたちの魅力を見つけよう！ ユニットでつくる立体アート」
※イメージ

日時 A 8月10日(月) 10:15～12:15 対象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
B 8月11日(火祝) 10:15～12:15
C 8月11日(火祝) 14:00～16:00 定員 各回12名
D 8月12日(水) 10:15～12:15 会場 アートスタジオ
E 8月12日(水) 14:00～16:00 企画協力 島根大学教育学部美術科教育専攻
(計5回実施/各回約120分)

ワークショップ申込方法

件名にイベント名「夏休みアート体験」を明記の上、
①氏名(ふりがな)・年齢、②住所、③電話番号、④希望回(第2希望まで可)を書き、下記アドレスへお申し込みください。

申込先 sam@pref.shimane.lg.jp

申込締切 7月30日(木)

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

お申し込みはこちら▼

※@pref.shimane.lg.jpを受信できるよう設定してください。

※お申込多数の場合は抽選となります。

※定員に満たない場合は、締切日以降でもお申込みを受け付ける場合がございます。

※お客様の個人情報は、当ワークショップの運営以外には利用いたしません。



かぞくの時間



毎日午前は
「かぞくの時間」
(10:00～12:00)

関連イベント 毎月第3木曜日は「絵本とおでかけ展示室」

絵本のお話を聞いて、お話をヒントに作品鑑賞のお散歩に出かけます。

時間 10:30～(約40分)

集合 キッズライブラリー(先着20名程度)

料金 コレクション展観覧料 一般400円、大学生260円、小中高生無料



こころカード(アプリ)提示でお子様と来館の方4名までコレクション展観覧無料



島根県立美術館 子ども広報隊

参加無料 要事前申込

美術館で広報のお仕事体験ができます。
広報担当として、制服を着て、美術館の魅力を発見、発信する体験をしていただきます。

日時 8月23日(日)10:30～11:30

対象 小学3・4年生

定員 3名程度



子ども広報隊申込方法

参加ご希望の方は美術館ホームページのお問い合わせフォームの各欄に必要な事項を入力し、送信してください。

①氏名(フリガナ)※保護者の方の氏名を入力 ②メールアドレス
③件名「子ども広報隊」 ④ご意見・お問い合わせ欄:参加される児童様の「氏名(フリガナ)」、「学年・年齢」、「住所」、「電話番号(保護者の連絡先)」

お問い合わせフォーム お申し込みはこちら▶

申込締切 8月9日(日)

参加通知 締切後3日以内に返信をお送りします。

※shimane.art-museum@sps.sgn.ne.jpを受信できるよう設定してください。

※お申し込み多数の場合は抽選となります。

※当日お写真を撮影し、当館の公式SNS等へ公開予定です。

※お客様の個人情報は、当選・落選の連絡以外には、利用いたしません。



Gallery

ギャラリー展示のご案内

会 期	展 覧 会 名	内 容	問合せ先
7月 9日(水) - 7月13日(日)	設立70周年 創刊850号記念 開眼書展	書道作品(新作約300点)の展示。	河瀬 090-8240-6952
7月15日(水) - 7月20日(月祝)	さんかく美術館絵画教室展覧会「空想の森」	絵画、版画、コラージュ、立体等、小学生から大人の方による絵画教室の作品展示。	足立 090-4895-7152
7月15日(水) - 7月20日(月祝)	第65回 島根新協展	島根新協美術会会員による絵画(油彩、水彩)の展示。	舟木 090-4103-1658
7月22日(水) - 7月27日(日)	「ひびきあう形・生命の鼓動」目次隆志展	独立展及び島根洋画展の出品作品を大作中心に新作も含め約15点展示する。	目次 080-1933-7077
7月22日(水) - 7月27日(日)	金折文男 絵画展	洋画(主に油彩画)の展示。	金折 090-8062-3357
7月29日(水) - 8月 3日(月)	第46回 山陰二紀展	絵画、彫刻の展示。	田中 090-4693-9139
8月 5日(水) - 8月10日(月)	第29回 書友墨齋会書展	書友師範会の会員による作品展示(漢字、かな、細字、近代詩文書)。	明正(めいしょう) 090-6848-3481
8月 5日(水) - 8月10日(月)	美しき水と八雲と神話の旅〜物語を継ぐ〜	島根半島の神話・伝説に基づいた題材について表現された絵画・写真・作品の展示。	島根半島四十二浦巡り再発見研究会事務局(木幡) 090-4572-0641
8月12日(水) - 8月17日(日)	KUNIBIKI'26	絵画・イラストレーション・写真・木彫・立体・インスタレーション等の展示。	渡部 090-8061-8543
8月19日(水) - 8月23日(日)	第62回 八洪水書展	八洪水会員による書道作品展。	遠山 0852-36-5762
8月19日(水) - 8月24日(月)	松江写真作家協会写真展	松江写真作家協会の会員、川本写真教室関係者の作品展示。	桂川 090-8999-1309
8月27日(水) - 8月31日(日)	第54回 日本の書展 松江展	現代書壇を代表する一流書家と山陰両県の書家の作品展。	有料 山陰中央新報社事業部 0852-32-3415

○開室時間は通常10:00〜18:00です。ただし、最終日は撤収のため閉室時刻が早まる場合があります。○観覧料は記載のない場合は無料です。有料の場合、ミュージアムパスポートはご使用いただけません。
○ギャラリーは一般の方に貸し出しているスペースです。展示利用をご検討の方は、美術館ギャラリー担当までご連絡ください。



湖畔のレストラン「RACINE」

「タピオ・ヴィルカラ展」 期間限定メニュー

フィンランド出身のデザイナー、タピオ・ヴィルカラの故郷を思い起こさせる伝統料理や、彼の手掛けた作品からインスピレーションを受けた、ラシスオリジナルのコースです。視覚と味覚、両方からお楽しみいただけます。

「タピオ・ヴィルカラ展」期間限定メニュー…………… 3,500円(税込)
[メニュー] 前 菜:サーモンのテリーヌ〜白と黒のコントラスト〜
スープ:本日のスープ
メイン:本日のメイン(魚か肉を選択)〜フィンランドのロソッリに合わせて〜
デザート:ブルーベリータルトのシュガードーム
パン/食後の飲み物付き

■営業時間 10:00〜18:00(美術館開館時間に準じます) ■レストラン電話 0852-25-6562
※状況により閉店時刻が早まる場合があります。
■ランチ(11:00〜15:00) ■ディナー(17:00〜)※完全予約制



年間パスポート のご案内



当館主催の企画展、コレクション展を何度でもご覧いただけるほか、下記の6つの特典があります。ご利用の際は、各展示室前受付でパスポートを提示してください。

プレゼントとしても購入いただけます。

※ギャラリー(貸出施設)は主催者が異なるため別料金となります。

年会費 一般3,600円 大学生2,100円 小中高生900円
購入は美術館総合受付(パスポート窓口)までお越しください。

【会員特典】企画展・コレクション展を何度でも
ご鑑賞いただけます。(購入日より1年間)

①企画展観覧料 半額
(同伴者2名様まで)

②ミュージアムショップでの
お買い物 5%OFF

③「美術館ニュース」や各展覧会のチラシをお届け(年4回)

④提携施設を割引料金でご利用いただけます。

足立美術館、植田正治写真美術館、愛媛県美術館、尾道市立美術館、サントリ美術館、島根県立石見美術館、島根県立古代出雲歴史博物館、とっとり花回廊、広島県立美術館、ひろしま美術館、広島市現代美術館、水木しげる記念館、山口県立美術館、山口県立萩美術館・浦上記念館

⑤レストランで
ソフトクリーム200円

⑥来館ポイント5つで
ワンドリンクサービス

有効期限内に継続購入された場合、無料観覧券を1枚進呈いたします。

※有効期間末日の3ヶ月前から更新手続きができます。

(例)5月31日までが有効期限の場合、3月1日から更新手続きが可能

ミュージアムショップ

Museum Shop

「タピオ・ヴィルカラ展」関連グッズを販売

ミュージアムショップでは「タピオ・ヴィルカラ展」開催に合わせて、会場限定の展覧会ブックレット(1,320円税込)を販売します。このほか、展覧会とあわせて楽しめるオリジナルグッズなどを販売しています。ぜひ店頭で商品をご覧ください。

オンラインショップ

<https://www.sam-museumshop.shop/>



最新の情報は美術館ホームページ、SNSでお知らせします。



島根県立美術館メールマガジンEニュース

E-NEWS

配信をご希望の方は件名に「メールマガジン配信希望」と記載の上、美術館ホームページのお問い合わせフォームよりお申込みください。



島根県立美術館



〒690-0049 島根県松江市袖師町1-5
TEL0852-55-4700 FAX0852-55-4714
<https://www.shimane-art-museum.jp>